

「患者様」から「患者さん」と呼び方を変更させていただきます

病院や診療所で「患者様」という呼び方（呼称）を見直す動きが普及しています。

「様」呼称は医療業界における「患者中心の医療」という流れの中で普及しましたが、「違和感がある」、「よそよそしく冷たさを感じる」、「患者に様をつけるのは日本語としておかしい」などの理由から、「患者さん」呼称に戻す医療機関が増えているようです。

つきましては、当院でも順次、ホームページや掲示物類で「患者様」呼称を「患者さん」に改めてまいりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、受付その他では、特にご氏名をお呼びする際、より自然な呼び方を使用させていただきますが、医療従事者の間では「〇〇さん」という呼び方をいたします。

記

1. 「患者様」という呼称は「患者さん」に変更します。
2. 文書として個人名に関わる際の使用は特に制限しません。
(患者宛郵送文書、診療情報提供書、個人へのメール返信等など)
3. 掲示物、印刷物、ホームページ等についての記載は順次改めます。

以上

【参考資料】

- 1 医療現場における「〇〇様」という呼び方は、「国立病院・療養所における医療サービスの質の向上に関する指針」の中の「患者との接遇態度や言葉使いの改善」の項目で、『患者の呼称の際、原則として姓名に「さま」を付することが望ましい』という通達があり、全国的に広まった。(平成 13 年 厚生労働省)
- 2 「患者」という名称は「患った者」という意味であるため、この言葉に尊敬語である「様」をつけるのは日本語として問題がある。(平成 18 年 京都大学病院)
- 3 患者へのアンケート調査によると、「患者さん」で十分という意見が7割に上る
(平成 19 年西日本新聞)
- 4 アンケートの結果、職員・患者とも「さん」の方が身近で親しみを感じる、という意見が多かった (平成 19 年朝日新聞)
- 5 ホテルにおける客と従業員との関係とは異なり、患者と医療者は対等な関係であるべき
(平成 21 年群馬保険医新聞)

医療法人正幸会 正幸会病院 院長